

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス谷山駅前教室		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 15日		～ 令和 8年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4世帯	(回答者数) 3世帯
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 15日		～ 令和 8年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	柳澤運動プログラムを取り入れて運動療育を行い、子どもたちが体を動かし発散させつつ「できた!」と自己肯定感や成功体験を積めること。	子どもたちが楽しみながら運動に取り組み、身体や脳の成長を促せるような活動プログラムを職員間で情報共有し取り組んでいる。	一人一人の成長過程や発達段階に合わせた活動内容の提供ができるよう活動内容の幅を広げていきたい。
2	休日活動の充実。	クッキングやお買い物体験、外食体験、収穫体験、ボウリング等、その他様々な施設外活動を通してルールやマナー等、社会性が身に着けられるよう体験活動も取り入れている。	飽きがこないよう、子どもたちがワクワク興味を持てるような活動内容を取り入れる。
3	専門職や様々な業種を経験した職員の配置。	一人一人の子どもに応じて、専門職からの適切なアドバイスや他の職員からの意見等、幅広い視点から支援に活かすことができる。	質の高い支援が行えるよう、それぞれの職員の強みを日々の話し合いの中で見出し職員間で共有して支援に取り入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	開所間もないため、今後児童数が増えた際の室内の使い方、送迎時のあり方等、安全面への取り組み。	開所間もないこと。教室が大きな道路に面していること。	職員間で危機管理を高められるよう、些細なことでも気づいたことを話し合い、人数が増えた際、安全に過ごせる環境作りを行っていく。
2			
3			